

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公開番号】特開2006-223823(P2006-223823A)

【公開日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2005-112973(P2005-112973)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/05 (2006.01)

A 6 1 B 5/22 (2006.01)

A 6 1 B 5/107 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 B

A 6 1 B 5/22 B

A 6 1 B 5/10 3 0 0 F

A 6 1 B 5/10 3 0 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被測定者の年齢データを取得する年齢データ取得手段と、被測定者の身長データを取得する身長データ取得手段と、被測定者の体重データを取得する体重データ取得手段と、被測定者の生体電気インピーダンスデータを取得するインピーダンスデータ取得手段と、被測定者の除脂肪量データを取得する除脂肪量データ取得手段と、少なくとも除脂肪量データと年齢データとに基づいて被測定者の基礎代謝量を算出する基礎代謝量算出手段とを備えてなる基礎代謝量測定装置であって、

被測定者が妊婦である場合にその胎児部分の重量データを取得する胎児部分重量データ取得手段を更に備え、

前記除脂肪量データ取得手段は、少なくとも取得された身長データと体重データとインピーダンスデータと胎児部分重量データとに基づいて被測定者たる妊婦の母体の除脂肪量データを算出し、前記基礎代謝量算出手段は、母体の除脂肪量データに胎児部分重量データを加算して得られる重量データと年齢データとに基づいて被測定者たる妊婦の基礎代謝量を算出することを特徴とする基礎代謝量測定装置。

【請求項2】

請求項1記載の基礎代謝量測定装置であって、

前記胎児部分重量データ取得手段は、被測定者たる妊婦の妊娠後の経過期間データを取得する妊娠期間データ取得手段と、この妊娠期間データに基づいて胎児部分の重量データを決定する胎児部分重量データ決定手段とを含んでなることを特徴とする基礎代謝量測定装置。

【請求項3】

被測定者の年齢データを取得する年齢データ取得手段と、被測定者の身長データを取得する身長データ取得手段と、被測定者の体重データを取得する体重データ取得手段と、被測定者の生体電気インピーダンスデータを取得するインピーダンスデータ取得手段と、被測

定者の除脂肪量データを取得する除脂肪量データ取得手段と、少なくとも除脂肪量データと年齢データに基づいて被測定者の基礎代謝量を算出する基礎代謝量算出手段とを備えてなる基礎代謝量測定装置であって、

被測定者が妊婦である場合にその胎児部分の重量データを取得する胎児部分重量データ取得手段と、被測定者たる妊婦の妊娠後の経過期間データを取得する妊娠期間データ取得手段とを更に備え、

前記除脂肪量データ取得手段は、少なくとも取得された身長データと体重データとインピーダンスデータと胎児部分重量データに基づいて被測定者たる妊婦の母体の除脂肪量データを算出し、前記基礎代謝量算出手段は、母体の除脂肪量データと年齢データに基づいて被測定者たる妊婦の母体の基礎代謝量を算出すると共に、妊娠期間データに基づいて胎児部分の基礎代謝量を算出し、且つ、これら母体の基礎代謝量と胎児部分の基礎代謝量とを合算することによって被測定者たる妊婦の基礎代謝量を算出することを特徴とする基礎代謝量測定装置。

#### 【請求項4】

請求項3記載の基礎代謝量測定装置であって、

前記胎児部分重量データ取得手段は、前記妊娠期間データ取得手段で取得された妊娠期間データに基づいて胎児部分の重量データを決定する胎児部分重量データ決定手段を含んでなることを特徴とする基礎代謝量測定装置。

#### 【請求項5】

請求項2乃至4記載の基礎代謝量測定装置であって、

前記妊娠期間データ取得手段は、測定日データを取得する測定日データ取得手段と、被測定者たる妊婦の出産予定日データを取得する出産予定日データ取得手段と、これら測定日データと出産予定日データに基づいて妊娠後の経過期間データを決定する妊娠期間データ決定手段とを含んでなることを特徴とする基礎代謝量測定装置。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の基礎代謝量測定装置は、被測定者の年齢データを取得する年齢データ取得手段と、被測定者の身長データを取得する身長データ取得手段と、被測定者の体重データを取得する体重データ取得手段と、被測定者の生体電気インピーダンスデータを取得するインピーダンスデータ取得手段と、被測定者の除脂肪量データを取得する除脂肪量データ取得手段と、少なくとも除脂肪量データと年齢データとにに基づいて被測定者の基礎代謝量を算出する基礎代謝量算出手段とを備えてなる基礎代謝量測定装置であって、被測定者が妊婦である場合にその胎児部分の重量データを取得する胎児部分重量データ取得手段を更に備え、前記除脂肪量データ取得手段は、少なくとも取得された身長データと体重データとインピーダンスデータと胎児部分重量データとにに基づいて被測定者たる妊婦の母体の除脂肪量データを算出し、前記基礎代謝量算出手段は、母体の除脂肪量データに胎児部分重量データを加算して得られる重量データと年齢データとにに基づいて被測定者たる妊婦の基礎代謝量を算出するものである。

#### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

或いは、本発明の基礎代謝量測定装置は、被測定者の年齢データを取得する年齢データ取得手段と、被測定者の身長データを取得する身長データ取得手段と、被測定者の体重データを取得する体重データ取得手段と、被測定者の生体電気インピーダンスデータを取得するインピーダンスデータ取得手段と、被測定者の除脂肪量データを取得する除脂肪量データ取得手段と、少なくとも除脂肪量データと年齢データとに基づいて被測定者の基礎代謝量を算出する基礎代謝量算出手段とを備えてなる基礎代謝量測定装置であって、被測定者が妊婦である場合にその胎児部分の重量データを取得する胎児部分重量データ取得手段と、被測定者たる妊婦の妊娠後の経過期間データを取得する妊娠期間データ取得手段とを更に備え、前記除脂肪量データ取得手段は、少なくとも取得された身長データと体重データとインピーダンスデータと胎児部分重量データとに基づいて被測定者たる妊婦の母体の除脂肪量データを算出し、前記基礎代謝量算出手段は、母体の除脂肪量データと年齢データとに基づいて被測定者たる妊婦の母体の基礎代謝量を算出すると共に、妊娠期間データに基づいて胎児部分の基礎代謝量を算出し、且つ、これら母体の基礎代謝量と胎児部分の基礎代謝量とを合算することによって被測定者たる妊婦の基礎代謝量を算出するものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

本発明の基礎代謝量測定装置は、被測定者の年齢データを取得する年齢データ取得手段と、被測定者の身長データを取得する身長データ取得手段と、被測定者の体重データを取得する体重データ取得手段と、被測定者の生体電気インピーダンスデータを取得するインピーダンスデータ取得手段と、被測定者の除脂肪量データを取得する除脂肪量データ取得手段と、少なくとも除脂肪量データと年齢データとに基づいて被測定者の基礎代謝量を算出する基礎代謝量算出手段とを備えてなる基礎代謝量測定装置であって、被測定者が妊婦である場合にその胎児部分の重量データを取得する胎児部分重量データ取得手段を更に備え、前記除脂肪量データ取得手段は、少なくとも取得された身長データと体重データとインピーダンスデータと胎児部分重量データとに基づいて被測定者たる妊婦の母体の除脂肪量データを算出し、前記基礎代謝量算出手段は、母体の除脂肪量データに胎児部分重量データを加算して得られる重量データと年齢データとに基づいて被測定者たる妊婦の基礎代謝量を算出するものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

或いは、本発明の基礎代謝量測定装置は、被測定者の年齢データを取得する年齢データ取得手段と、被測定者の身長データを取得する身長データ取得手段と、被測定者の体重データを取得する体重データ取得手段と、被測定者の生体電気インピーダンスデータを取得

するインピーダンスデータ取得手段と、被測定者の除脂肪量データを取得する除脂肪量データ取得手段と、少なくとも除脂肪量データと年齢データとに基づいて被測定者の基礎代謝量を算出する基礎代謝量算出手段とを備えてなる基礎代謝量測定装置であって、被測定者が妊婦である場合にその胎児部分の重量データを取得する胎児部分重量データ取得手段と、被測定者たる妊婦の妊娠後の経過期間データを取得する妊娠期間データ取得手段とを更に備え、前記除脂肪量データ取得手段は、少なくとも取得された身長データと体重データとインピーダンスデータと胎児部分重量データとに基づいて被測定者たる妊婦の母体の除脂肪量データを算出し、前記基礎代謝量算出手段は、母体の除脂肪量データと年齢データとに基づいて被測定者たる妊婦の母体の基礎代謝量を算出すると共に、妊娠期間データに基づいて胎児部分の基礎代謝量を算出し、且つ、これら母体の基礎代謝量と胎児部分の基礎代謝量とを合算することによって被測定者たる妊婦の基礎代謝量を算出するものである。

#### 【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0033】

以下、本発明の第一実施例について、図1から図7までを参照して説明する。図1は、本発明の実施例たる基礎代謝量測定装置1の外観斜視図である。図2は、この基礎代謝量測定装置1の電気回路構成を表す概略図である。図3は、この基礎代謝量測定装置1の操作部の拡大図である。図4は、第一実施例としての基礎代謝測定装置1で実行される制御処理プログラムのフローチャートである。図5は、第一実施例の基礎代謝量測定装置1で用いられる妊娠週数と胎児部分重量データとの関係を表す図である。図6は、第一実施例の基礎代謝量測定装置1で用いられる妊婦用の基礎代謝量算定式の正確性を検証した図である。図7は、第一実施例の基礎代謝量測定装置1における印刷出力例を表す図である。

#### 【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0081】

【図1】本発明の実施例たる基礎代謝量測定装置1の外観斜視図である。

【図2】この基礎代謝量測定装置1の電気回路構成を表す概略図である。

【図3】この基礎代謝量測定装置1の操作部の拡大図である。

【図4】第一実施例としての基礎代謝測定装置1で実行される制御処理プログラムのフローチャートである。

【図5】第一実施例の基礎代謝量測定装置1で用いられる妊娠週数と胎児部分重量データとの関係を表す図である。

【図6】第一実施例の基礎代謝量測定装置1で用いられる妊婦用の基礎代謝量算定式の正確性を検証した図である。

【図7】第一実施例の基礎代謝量測定装置1における印刷出力例を表す図である。

【図8】第二実施例としての基礎代謝測定装置1で実行される制御処理プログラムのフローチャートである。

【図9】第二実施例としての基礎代謝量測定装置1で用いられる妊娠週数と胎児部分の基礎代謝量との関係を表す図である。

【図10】厚生労働省の基礎代謝量算出方法を検証した図である。

【図11】特許文献1の基礎代謝量演算方法を検証した図である。